

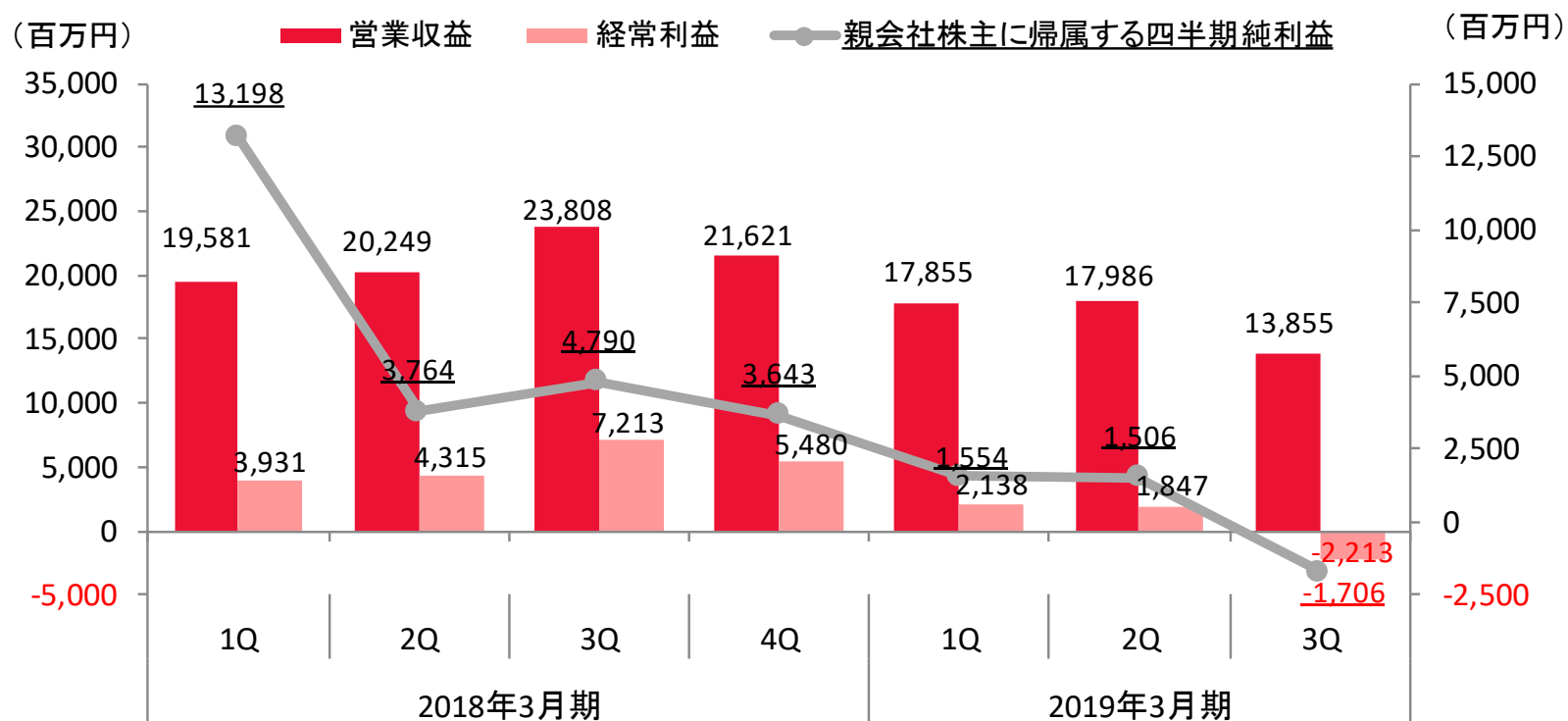
2019年3月期第3四半期決算 アップデート資料

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2019年2月20日

業績概要

(連結)四半期ごと業績推移



3Q決算のポイント:業績不振と特殊要因



提携合弁証券(JV)の不振

先行投資(オフィス移転等)

高木証券の経常損失

のれん償却

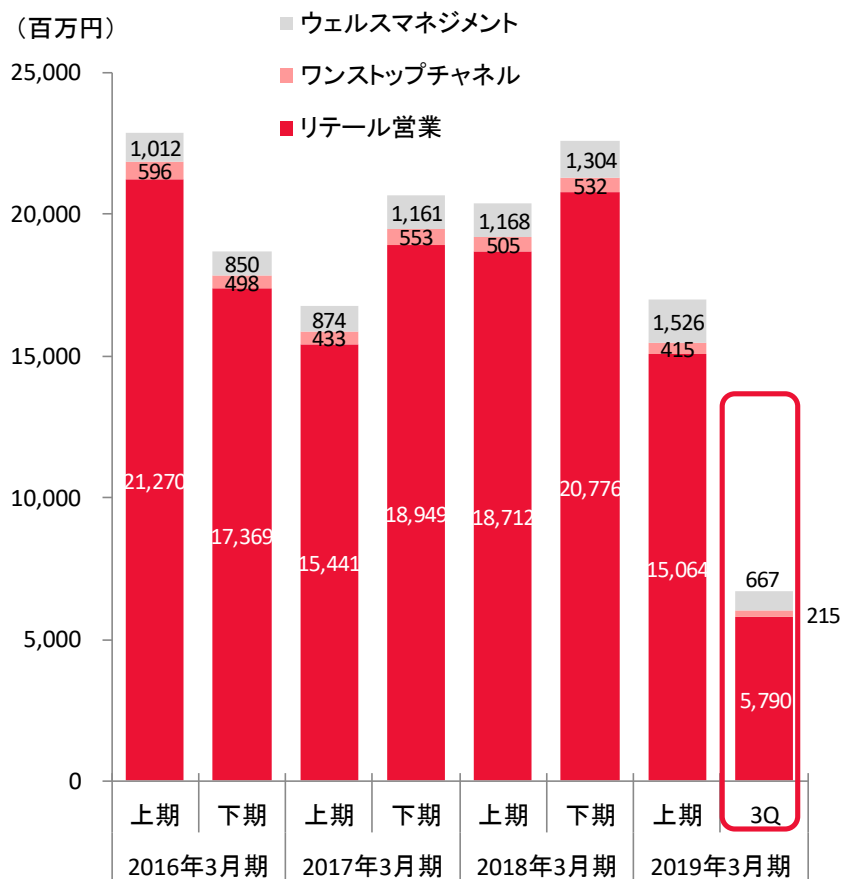
3Q決算のポイント:業績不振と特殊要因

2019年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
高木証券	・経常損失117百万円	・経常損失270百万円	・経常損失545百万円
ファンド投資不振	・ヘッジファンドの運用損 145百万円	・ヘッジファンドの運用益 245百万円	・ヘッジファンドの運用損 526百万円
一時要因		オフィス移転に伴い、一定 期間賃料が二重に発生 (重複分300百万円)	同左
先行投資にかかる のれん関連	のれん償却関係 137百万円	のれん償却関係 197百万円	のれん償却関係 197百万円

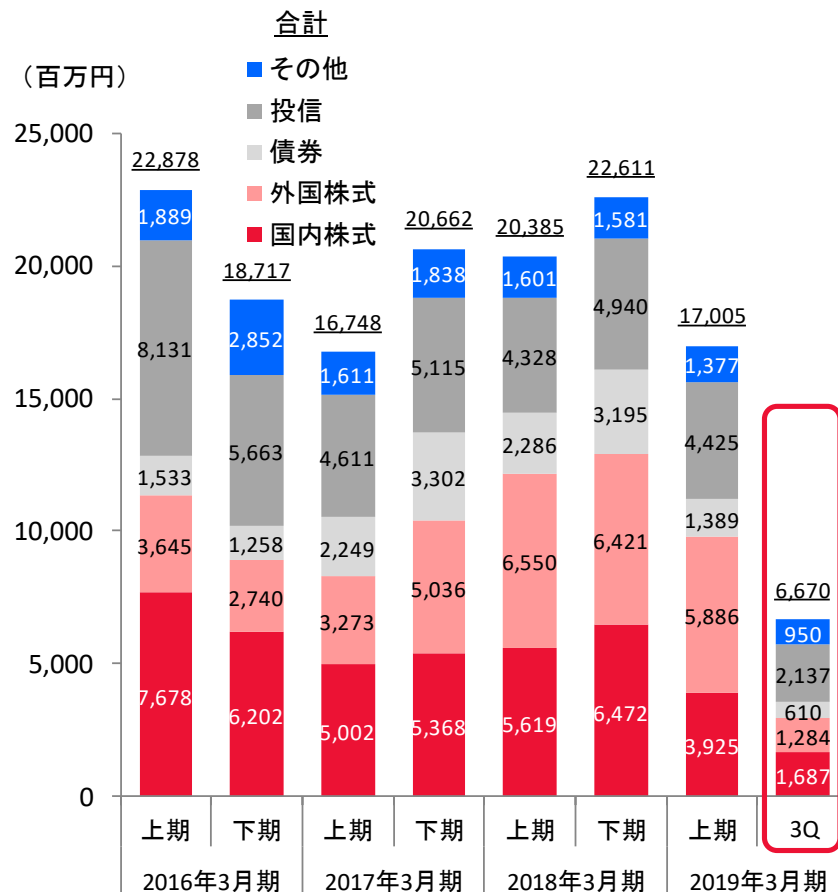
3Q決算のポイント:業績の分析

(東海東京証券)リテール部門の不振

セグメント別収益内訳



商品別収益内訳

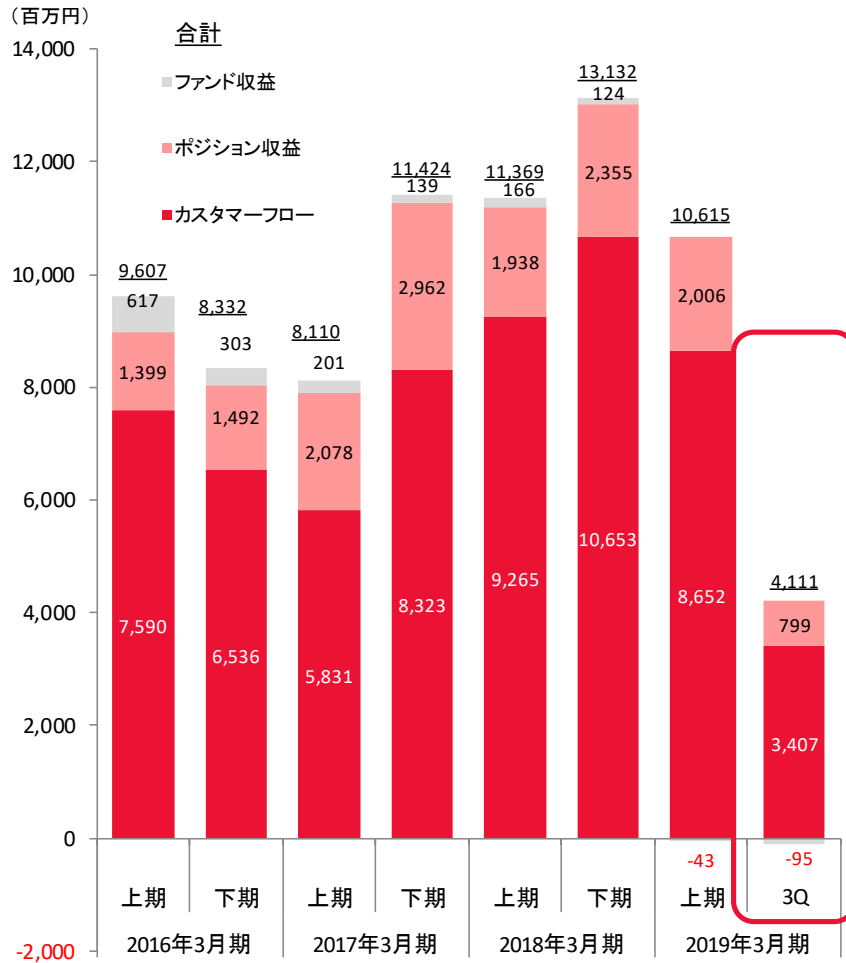


※リテール営業:リテール・カンパニー+トヨタ事業部門

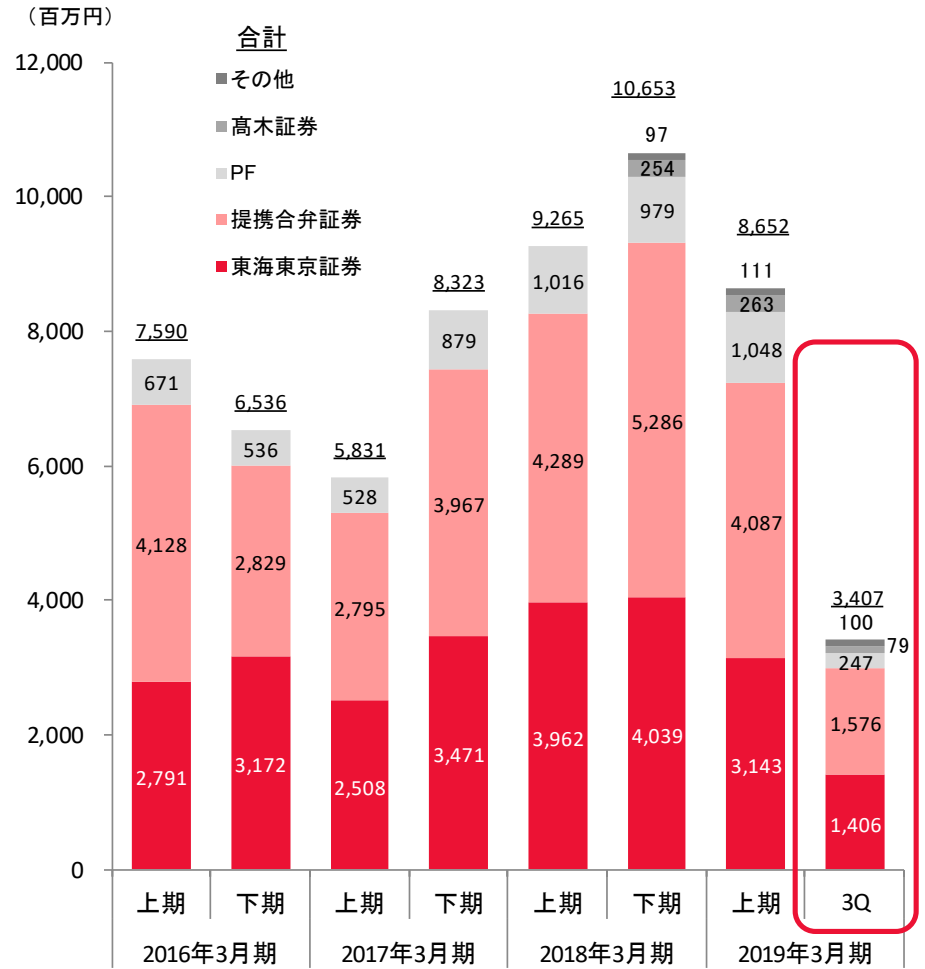
3Q決算のポイント:業績の分析

(東海東京証券)マーケット部門 フローの変化、ポジションの不振

カテゴリ別収益内訳



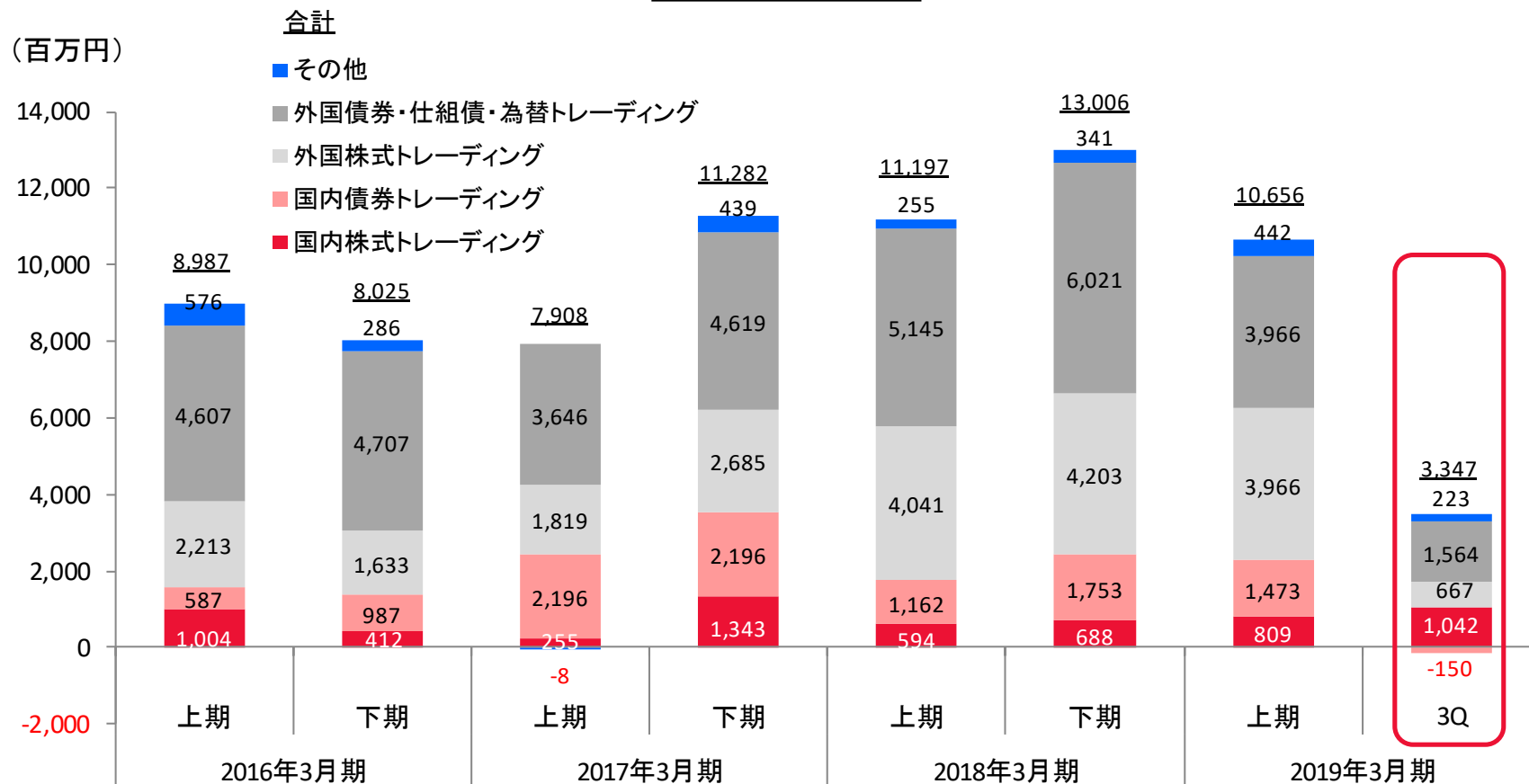
顧客別フロー収益内訳



3Q決算のポイント:業績の分析

(東海東京証券)マーケット部門 フローの変化、ポジションの不振

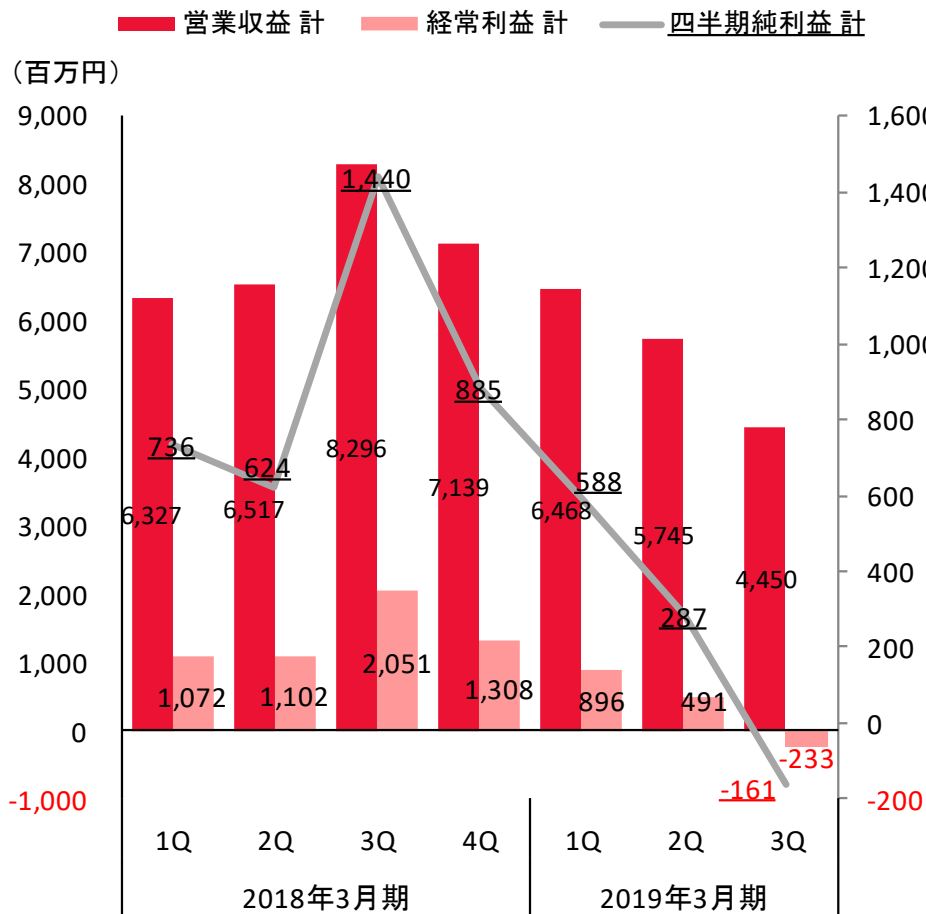
商品別収益内訳



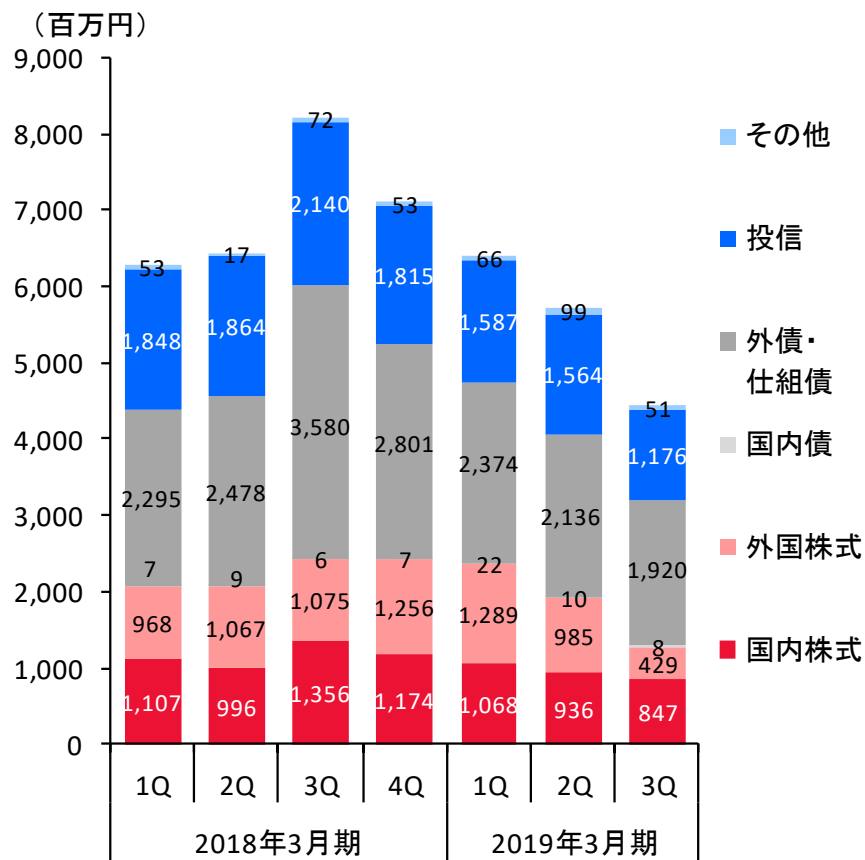
3Q決算のポイント:業績の分析

提携合弁証券(JV)の不振

四半期ごと業績推移(JV6社合算)



商品別収益推移(JV6社合算)



※ 各社の管理会計上のデータ

3Q決算のポイント: 今後の動向(短期的テーマ)

リテール	マーケット部門	提携合弁証券
<ul style="list-style-type: none">・米国株・仕組債・投資信託	<ul style="list-style-type: none">・米国株・仕組債・ポジション収益・JV等からのフロー	<ul style="list-style-type: none">・銀証連携・法人ビジネス・外債・仕組債・米国株・投資信託
高木証券	先行投資	投資施策
<ul style="list-style-type: none">・経常損失・統合費用・有価証券売却益	<ul style="list-style-type: none">・オフィス移転等関係費 (1~6月)・のれん	投資リターン

3Q決算のポイント: 中長期的テーマ

ビジネス環境の変化

デジタルイゼーション

高コスト

フィデューシャリー・
デューティ

6つの
脅威

顧客ニーズの
多様化

働き方改革

市場の変動

3Q決算のポイント: 中長期的テーマ

利益向上策

ファイナンス、ラップ、サブスクリプション

富裕層ビジネス

スペシャル・カスタマー

運用・調達ビジネス

提携合弁証券(JV)の
拡大施策

マーケット・オリエンテッド
ビジネス

グレート・プラットフォーム

生産性向上

問合せ先

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 広報・IR部

TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314

E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。